

分離技術会 第10回東海地区分離技術講演会

シェールガス、メタンハイドレートがもたらす石油化学原料と製造技術へのインパクト

主催 分離技術会

共催 化学工学会東海支部, 日本溶剤リサイクル工業会

協賛 化学工学会分離プロセス部会, 石油学会

アメリカでのシェールガスの採掘による天然ガス価格の大幅な低下は、化学産業に対して革命的变化を引き起こすことが期待されています。我が国でもメタンハイドレートの試掘が開始され、天然ガスを原料とする新しい化学プラント技術の重要性が高まっています。

本講演会では、シェールガス開発の現状と石油化学工業に与える影響、メタンハイドレートなどの資源探査技術、触媒技術の最新動向と展開、石化原料の新製造技術に関して、第1線でご活躍中の方々にご講演いただきます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

日時 平成25年7月24日(水) 13:30~17:10

場所 名古屋大学 理学部南館1F セミナー室

<交通> (名古屋市営地下鉄 名古屋大学駅3番出口を出て、山手通を横断し理学部方面に直進して左手の建物、駅より徒歩5分)

講演(講演時間は質疑応答含む)

1. 13:30~14:30 「米国のシェールガス, シェールオイル開発の現状と石油化学工業への影響」
分離技術会 八木 宏 氏
2. 14:30~15:20 「FT 反応の新展開と低温メタノール合成(仮題)」
富山大学大学院理工学研究部工学系 椿 範立 氏
- 15:20~15:30 休憩
3. 15:30~16:20 「地下に眠るメタンハイドレート資源を探る(仮題)」
名古屋大学大学院環境学研究科附属地震火山研究センター 渡邊 俊樹 氏
4. 16:20~17:10 「石油化学原料への新製造技術開発(研究)の取組みと展望」
(株)三菱化学科学技術研究センター合成技術研究所 瀬戸山 亨 氏

参加費 一般; 6,000円, 学生; 1,000円(いずれも消費税含む、当日現金で徴収します)
定員 50名

申込方法 「第10回東海地区分離技術講演会」と題して、氏名・勤務先・所属・連絡先(TEL)を明記の上、e-mailまたはFAXにて7月19日(金)までに下記宛お申込下さい。

申込先 〒214-0034川崎市多摩区三田1-12-5-135 分離技術会 事務局

TEL 044-935-2570 FAX 044-935-2571 e-mail jimuj@sspej.gr.jp